

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	市立病院介護老人保健施設	事業No.	351
事務事業名		会計	介護老人保健施設事業特別会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画	
	法令・例規等			介護保険法	
				飯田市立病院介護老人保健施設条例	
事業目的	対象	入所、短期入所及び通所等の利用者			
	意図	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供します			

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)	
	・在宅復帰に向けたリハビリの充実、入退所前後の訪問による入所中評価や在宅に向けた指導など、介護サービスの実績を積み上げ、老健の類型で一番ハードルが高い「超強化型」に飯伊地区で初めて移行し、年間を通じて維持することができました。 ・コロナ禍で、通所の利用者数が減少した時期がありましたが、受け入れ体制やサービス内容を見直すことで、昨年並みの利用者数を維持することができました。また、窓越し面会の実施で、利用者やご家族に安心いただける対応ができました。下黒田まちづくり委員会との避難訓練で災害時協力体制を確認するなど地域の拠点施設として取り組みました。			人件費			450,004		
				介護老人保健施設管理費			78,709		
				施設事業費			75,747		
				会計年度任用職員人件費			87,771		
				その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	施設入所稼働率	%	95	92.6	95	90.2	95	92.8	
	通所1日あたり利用者数	人	27	24.5	27	27.1	27	25.6	
	認知症カフェ等、相談会・情報発信の回数	回	6	6	12	12	12	7	
2年度決算(千円)	予算額	710,240	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額	692,231	(県)新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金(10/10) 6,262千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(県)高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症の自主検査費用補助金(2/3) 100千円					
		県支出金	6,362	円					
		地方債	0	(そ)繰入金 140,158千円					
		その他	156,754	(そ)諸収入 16,596千円					
一般財源	529,115								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大	中	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
					事	事			
					業	業			
1	13	1	1	1	1	1	454,954	450,004	人件費
2	13	1	1	1	10	1	82,364	78,709	介護老人保健施設管理費
3	13	1	1	2	10	1	80,632	75,747	施設事業費
4	13	1	1	1	1	3	92,290	87,771	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振返り課題認識	4月から「超強化型」の類型に移行し、年間を通じて維持することができました。コロナ禍でしたが、類型の移行により自宅暮らしで暮らしていくための支援の充実や、利用者数を増やすなど施設を有効活用して介護サービス収入の増につながりました。今後は、退所で空床になるベッドの稼働率や入所、通所サービスの利用率を上げていくことで「超強化型」を維持するとともに、利用者を大切にケアの質を向上させることが課題です。								
上記の課題解決のための有効策	施設稼働率をあげるため、利用希望とサービス提供側の的確な調整が必要で、市立病院との連携や他事業者との直接面談の機会を増やすなど、連携を深める必要があります。また施設のサービス内容を市民に知っていただく必要があります。介護報酬改定に伴う対応を検討し、計画的に取り組むことで、持続的な経営を確保し、サービスの質を高める必要があります。								
次年度に向けての取り組み	コロナ禍において感染防止に最大限に努めながら、地域貢献活動などの情報提供やケア相談など、地域に開かれた施設を目指します。介護報酬改定を踏まえた運営の見直しを検討し、在宅復帰支援施設としての機能をさらに強化していきます。								